

<大阪府立高等支援学校(職業学科)について知ろう！>



高等支援学校という名前だから「支援学校」と関係がある学校なんだろうけど、どんな学校なんだ？

大阪府内の高等支援学校は職業学科をおく支援学校やな！知的障がいのある生徒が就労を通じて社会で自立し、充実した生活を送ることができるようにすることを目的とする学校やで^^



高等支援学校について、正直よくわからないという人はたくさんいると思います。

そこで今回は、高等支援学校の学習内容に関することや大阪府立むらの高等支援学校について取り上げます。下記に当てはまる人はぜひ最後まで読んでみてください^^

こんな人に読んで欲しい！

- 「高等支援学校ってどんな学校？」となる人
- 過去にどんな高等支援学校に進学したのか参考になる情報がほしい人
- 高等支援学校と支援学校(高等部)の違いがわからない人

1年生から『職場実習』を行い、3年間かけたスモールステップを重ねていくことで企業就労を目標としてるんやで^^



目次

- ① 過去3年間に本校から進学した高等支援学校一覧
- ② 高等支援学校とは？どんな学習を行っている？大阪府にある5つの高等支援学校
- ③ 大阪府立高等支援学校の取り組み紹介
- ④ 大阪府立むらの高等支援学校とは？
- ⑤ 高等支援学校と支援学校(高等部)を比較 (※知的障がいに関する情報のみ)

① 過去3年間に本校から進学した高等支援学校一覧

学校名	所在地	人数
大阪府立むらの高等支援学校	枚方市村野西町	*

\*は3名以下

② 高等支援学校とは？どんな学習を行っている？大阪府にある5つの高等支援学校

**目的**：高等支援学校(職業学科)は、「知的障がいのある生徒が就労を通じて社会的に自立する」ことを目的とする。

**高等部のみの支援学校**：高等学校と同様に3年間学習します。全国に約100校あります。普通科や職業学科を設置しています。知的障がい特別支援学校の場合は、多くの学校が職業教育に重点を置いたカリキュラムを編成して専門的な教育を実践しています。

支援学校の一つで、高等部のみの支援学校やな！障がいのある者が「学習上または生活上の困難を克服し、自立が図られること」と「就労を通じて社会的に自立すること」を目的とするな^^



**どんな学習を行う？**：就労をするための職業教育に重点を置いた学習を行っています。

- ①他の知的障がい支援学校(普通科)と同じ内容の学習  
※国語、数学、音楽、保健体育、自立活動、特別活動など
- ②高等支援学校だけの内容(専門学科における専門教科)の学習  
※家政、流通・サービス、福祉などの専門教科

大阪府にある5つの高等支援学校

 ①むらの高等支援学校 〒573-0042 枚方市村野西町 60-1 TEL 072-805-2327 FAX 072-805-2733	 ②とりかい高等支援学校 〒566-0062 摂津市鳥飼上 1-1-15 TEL 072-654-9235 FAX 072-654-9237	 ③たまがわ高等支援学校 〒578-0925 東大阪市稲葉 2-3-25 TEL 072-961-4730 FAX 072-961-4788
 ④なにわ高等支援学校 〒556-0027 大阪市浪速区木津川 2-3-30 TEL 06-6561-7361 FAX 06-6561-7300	 ⑤すながわ高等支援学校 〒590-0522 泉南市信達牧野 40-1 TEL 072-485-3810 FAX 072-485-3816	

画像出典：大阪府 | リーフレット 職業学科を設置する高等支援学校

### ③ 大阪府立高等支援学校の取り組み紹介

【 専門教科（例）】



ものづくり



福祉サービス



食品生産・加工



農園芸



バックヤード



オフィス・ビジネス など

【 共通科目】



清掃



接客・販売 など

【 行事・部活動（例）】



体育祭



文化祭



修学旅行



部活動

※各学校により活動内容は異なります。



#### 職業学科

- 『国語』や『数学』のような各教科での学習があります。
- 高等支援学校だけの内容として、「専門学科における専門教科」があります。  
どの「専門学科」に属し、専門教科を学ぶのかは、入学後に希望などを基に決定します。  
各校によって特色があるが、専門教科では、『集団で学ぶことの大切さ』や『就労に向けた責任感や態度を身につけること』を目指します。
- 『清掃』や『接客・販売』などの「共通科目」があります。



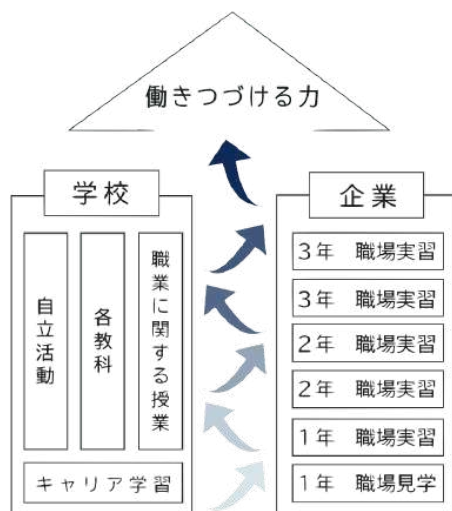
ガイダンス

外部講師講話

面接練習

#### 職場体験学習

- 企業などへ就労を目指すための取り組みとして実施しています。
- 面接練習や生徒一人ひとりに合わせた指導・支援をすすめています。
- 支援機関との繋がりを大切にした就労支援を行っています。



#### 行事・部活動

- さまざまな行事や部活動があります。



通える学校は決まっているの？通学方法はどんなだろう？

通学区域は、大阪府内全域です。通学バスは運行していません。公共交通機関などを利用した自主通学です。



昼食は持参？それとも給食があるのかな？

給食はありません。食堂や購買部もありません。各自お弁当の準備をしてください。



制服はあるのかな？卒業資格は高等学校と同じ？

制服、体操服、実習服など学校指定のものが 있습니다。卒業資格は「特別支援学校高等部卒業」となります。



#### ④ 大阪府立むらの高等支援学校とは？

**天の川カフェ**  
3つの学科で学んだ成果でおもてなし

働く気持ちを  
デザインする学校

平成27年に開校された**高等部の府立高等支援学校**です。  
**目標は、知的障がいのある生徒が就労を通じて社会で自立し、充実した生活を送ることです。**  
 多くの生徒が夢の仕事に就けるようサポートしています。また、卒業後も仕事を続けられるようサポートしています。  
**学校のビジョンは、「チャンス、チャレンジ、チェンジ」です。**  
 知的障がいのある生徒が、就労を通じて社会で自立し、充実した生活を送るための能力を育む学校を目指しています。

「**MURANOキャリアプラン**」という教育プログラムを導入しており、専門学科、職業共通、教科を効果的に組み合わせています。  
 また、**地域と連携し、喫茶店「天の川カフェ」を運営しています。**  
 ここで接客力やコミュニケーション力を身につける機会を提供しています。  
 知識や技術だけでなく、**社会人として必要な礼儀や身だしなみなどの素養も教えています。**

「**フードデザイン科(農園芸・食品加工分野)**」、「**プロダクトデザイン科(木工・陶芸分野)**」、「**リビングデザイン科(福祉・クリーニング分野)**」の3つの学科があります。天の川カフェは、これらの学科の成果を結集し、おもてなしの場として活用されています。  
 また、**共生推進教室**を府立芦間高等学校と府立緑風冠高等学校に設置し、一緒に学び、一緒に成長する教育を推進しています。

#### 3つの学科

- プロダクトデザイン科 : 『木工』、『窯業』などのものづくりの工程の学習を行う。
- フードデザイン科 : 『農園芸』、『食品加工』、食品衛生などの学習を行う。
- リビングデザイン科 : 『クリーニング』、『福祉』などの学習を行う。

職業に関する専門的な授業を6つの分野に分けて行なっている。  
 それぞれ専門の設備が整った教室で、働くために必要な力を育みます。  
 6つの分野はそれぞれ2分野で1つの学科に包括されており、入学直後は全ての分野の授業を体験します。そして、**いずれか1つの学科を自ら選択し、1年生の9月以降から卒業まで専攻した学科を学び、深めていきます。**

<p>プロダクトデザイン科</p> <p>コップやお皿の製品を作る「<b>窯業</b>」</p> <p>野菜や植物を育てる「<b>農園芸</b>」</p>	<p>フードデザイン科</p> <p>焼き菓子やパンをつくる「<b>食品加工</b>」</p> <p>木材の良さを生かした製品を作る「<b>木工</b>」</p>	<p>リビングデザイン科</p> <p>洗濯、アイロンなどを行う「<b>クリーニング</b>」</p> <p>車いす介助やベッドメイキングを行う「<b>福祉</b>」</p>
---	---	---



#### 4つの教科

**全員が共通して学ぶ、職業に関する4つの教科があります。**  
 「キャリアデザイン」「流通サービス」「清掃」「カフェ」  
 それぞれの教科で、働く上で大切なことや自己理解や他者理解を深めることなど、人や社会のつながりの大切さなどを学ぶことをねらいとしています。

<p><b>キャリアデザイン</b></p> <p>自分自身を見つめることで自己のあり方・生き方を学び、進路実現のために必要な力を身につけます。また社会的自立に向けて社会生活の仕組みや基礎知識を学び応用する力を育てます。</p>	<p><b>流通サービス</b></p> <p>社会に必要な言葉遣いやマナーなどの基本的な知識の習得を図ります。また、軽作業を通して、集中・継続して取り組む姿勢を育み、労働および生活上必要となる技能の習得を図ります。</p>	<p><b>清掃</b></p> <p>清掃に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、それらの意義と役割の理解を深めるとともに、社会参加するために必要な能力と実践的な態度を身につけます。</p>	<p><b>接客(カフェ)</b></p> <p>校内喫茶店(天の川カフェ)での具体的な接客場面を通して、対人場面で求められるコミュニケーション能力を養うとともに、組織の一員として連携する姿勢と技能を身につけます。</p>
--	--	--	---

**職場実習**：3年間かけたスモールステップを重ねていくことで企業就労を目標とする。

- 1年生：5月、6月、10月に淀川河川公園での実習を計5日間行います。  
11月、1月の時期に1週間ずつ企業などでの実習を計2週間行います。
- 2年生：6月、11月に2週間ずつ企業などでの実習を計4週間行います。
- 3年生：就職を前提とした現場実習を企業のタイミングに併せて、随時行います。

1年生 最初の「職場体験実習」



職場実習



協力いただいている実習先の業種・内容

- 小売業での作業（商品陳列、店内清掃、バックヤード作業、カゴ出し）
- 工場内作業（食品関係、工業製品関係、製品の仕分け、梱包、組み立て、商品のピッキング）
- ビルメンテナンス（社屋清掃・団地内清掃等）
- 事務作業（PC入力、メーリング配達、シュレッダー、封入作業、スキャニング、文書整理、検品）
- クリーニング作業（シーツ・ピロー・浴衣・白衣・制服等）
- 飲食店での厨房洗い物作業、パン販売、パン成型、接客
- 物流関係（貨物の管理・整理、検品）
- 福祉施設内清掃、レクリエーション補助、介護補助
- 車関係（ブレード整理、用品販売、洗車業務）
- 保育園・幼稚園での園内清掃、レクリエーション補助

主な進路先の職種・業種

- 事務作業
- クリーニング作業
- 小売販売周辺作業
- 厨房周辺作業
- 介護補助
- 清掃
- 物流
- 一般建設業

六期生（2022年度卒業）の進路状況（共生推進教室含む）			
種別	仕事内容	人数	
就職	製造業	7名	35名 本校：31名 共生推進：4名
	運輸業、郵便業	1名	
	卸売業、小売業	7名	
	不動産業、物品賃貸業	2名	
	学術研究、専門・技術サービス業	4名	
	宿泊業、飲食サービス業	2名	
	生活関連サービス業、娯楽業	1名	
	医療、福祉	2名	
	サービス業	7名	
公務	2名		
障がい者福祉事業所	自立訓練	1名	1名 共生推進：1名
職業訓練校	訓練	1名	1名 本校：1名
六期生卒業生			37名 本校：32名 共生推進：5名

**卒業生進路状況**

昨年度の卒業生進路状況を報告します。卒業生三十七名（共生推進教室含む）のうち、企業就労三十五名、障がい者福祉事業所一名、訓練校一名でした。

就職をゴールとするのではなく、新たなスタートとして長く勤めてほしいと願っております。各関係機関とも連携しながら職場への定着を進めていきたいと考えております。

**共生推進教室**

本校では、共生推進教室を府立高等学校（声聞、緑風冠）に設置し、設置校と連携協力しています。共生推進教室の生徒は、高等学校での学校生活とあわせて、週に1回本校での「職業に関する専門教科」の授業や行事に参加し、設置校の高等学校の生徒や本校の生徒と交友を深めます。

**併設校：枚方支援学校**

同敷地内に枚方支援学校が併設されています。生徒会行事や防災学習を通じて交流し、自己理解・他者理解をすすめます。また、2校の教職員の連携・協力のもと「安全・安心な学校づくり」をすすめます。

**本校の部活動**

- ・スポーツ部（バスケットボール、陸上、サッカー）
- ・音楽部
- ・ICT部
- ・家庭科部
- ・美術部

**対外的な行事参加（部活動等）**

- ・アビリンピック大阪
- ・むらの Smile&Music
- ・大阪支援学校スポーツ大会（バスケットボール、陸上、サッカー）
- ・子どもたちの讃歌展
- ・スポーツフェスタ
- ・淀川河川公園ふれあいマラソンボランティア
- ・御堂筋ふれあいバザー

村野駅から通学の場合の自主通学路

**令和6年度 大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科 入学者選抜 方針（一部抜粋）**

- 応募資格**：本人および保護者の住所が原則として大阪府内にある者のうち、次の(1)～(3)のいずれにも該当する者
  - 令和6年3月に中学校を卒業する見込みの者
  - 療育手帳を所持している者または児童相談所などの公的機関により知的障がいがあると判定を受けた者
  - 自主的な通学が可能である者
- 選抜方法**：調査書および推薦書並びに適性検査および面接の結果を総合的に判断して、職業学科を設置する高等支援学校の校長が行う。
- 出願、検査、合格発表**：
 

出願	検査等	合格者発表
2月14日（水）及び 2月15日（木）	面接 2月20日（火） 検査 2月21日（水）	2月29日（木）
- 併願について**：「共生推進教室」、「特別選抜」、「豊中高等学校能勢分校」、「海外から帰国した生徒」、「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒」、「知的障がい生徒自立支援コース」選抜と併願することができない。  
本入学者選抜の合格者は、「一般選抜」、「二次選抜」に出願することができない。  
本入学者選抜の合格者で「支援学校高等部入学者決定」に出願している者は、その受験資格を失う。

画像出典、参考：大阪府立むらの高等支援学校HP <https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/>  
 画像出典：大阪府立むらの高等支援学校 学校新聞 むら高支第 4099 号 第1号 令和5年7月14日発行 <https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/file/murano-dayori/むらのだよりR5-1号.pdf>  
 画像出典：大阪府立むらの高等支援学校 学校パンフレット [https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/singakufair/school\\_pumphlet2.pdf](https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/singakufair/school_pumphlet2.pdf)  
 参考：令和6年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜方針 <https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6senbatsuhoushin.pdf>

## ⑤ 高等支援学校と支援学校(高等部)を比較 (※知的障がいに関する情報のみ)

	高等支援学校(職業学科)	支援学校(高等部)
目的	「知的障がいのある生徒が就労を通じて社会的に自立すること」	障がいのある者が「幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育を受けること」と「学習上または生活上の困難を克服し、自立が図られること」
どんな学習を行う	就労をするための <b>職業教育に重点を置いた学習を行っています。</b> ①他の知的障がい支援学校(普通科)と同じ内容の学習 ※国語、数学、音楽、保健体育、自立活動、特別活動など ②高等支援学校だけの内容(専門学科における専門教科)の学習 ※ <b>家政、流通・サービス、福祉などの専門教科</b>	学習上または生活上の困難を克服し、自立するための学習を行っています。 ※当該学年や下学年の教科、自立活動、特別活動、道徳など
通学区域	大阪府内全域 ▶5つの高等支援学校がある	通学区域が決まっている ▶枚方市在住の場合は「枚方支援学校」
通学バス	なし	あり
給食	なし	あり
制服、体操服など	※むらの高等支援学校はあり	枚方支援学校はあるが、購入は自由(校内は体操服)
卒業資格	特別支援学校高等部卒業	特別支援学校高等部卒業
入学方法	『令和6年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜』にて合格する <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6senbatsuhoushin.pdf">https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6senbatsuhoushin.pdf</a>	『令和6年度大阪府立支援学校高等部及び幼稚部入学者決定』に準じた検査を受ける <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6nyuuketsuhoushin.pdf">https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6nyuuketsuhoushin.pdf</a>
応募資格	本人および保護者の住所が原則として大阪府内にある者のうち、次の(1)～(3)のいずれにも該当する者 (1)令和6年3月に中学校を卒業する見込みの者 (2)療育手帳を所持している者または児童相談所などの公的機関により知的障がいと判定を受けた者 (3)自主的な通学が可能である者	本人、および保護者の住所が大阪府内にある者で、 (1)中学校を卒業または令和6年3月に卒業する見込みの者 (2)学校教育法施行規則第95条の各号に該当する者のいずれかであって、かつ知的障がい教育を行う支援学校高等部に入学を志願することのできる者は、 (ア)知的発達の痲痺があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度の者 (イ)知的発達の遅滞の程度が前に掲げる程度に達しない者のうち、社会生活への適応が著しく困難な者
選抜方法	調査書および推薦書並びに適性検査および面接の結果を総合的に判断して、職業学科を設置する高等支援学校の校長が行う。 (※要項は10月頃に教育委員会HPに更新される予定です) <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00445891/R5koutoushien.pdf">https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00445891/R5koutoushien.pdf</a>	大阪府教育委員会が入学者決定実施要項で定める入学志願書等および出身学校長が提出する書類並びに入学のための検査の結果を資料として行う。 (※要項は10月頃に教育委員会HPに更新される予定です)
出願	2月14日(水)および15日(木)	1月19日(金)から26日(金)まで
検査など	面接 2月20日(火)、検査2月21日(水)	3月12日(火)
発表	2月29日(木)	3月14日(木)
卒業後の進路	原則、「障がい者雇用」枠としての就職となる。	すぐに就職する場合もあれば、職業能力開発校や就労移行支援などいくつかのステップを経て、就職を目指す場合もある。また、生活介護やなどの日中活動系の福祉サービスを中心に利用していく場合もある。

## まとめ

今回は高等支援学校の学習内容に関することや大阪府立むらの高等支援学校について解説しました。

### ポイント

- ① 高等支援学校では、卒業後に就職するための学習を行っている。
- ② 大阪府内に5つの学校があり、全ての学校を受けることができる。
- ③ 応募資格に『療育手帳を所持している』、『自主通学が可能である』がある。

障がいのある生徒が生き生きと笑顔で過ごせるために、一人ひとりの生活自立や社会的自立を目指した教育の充実に取り組んでいるんやな～^^



『高等支援学校は知的障がいのある生徒に対して職業教育に重点を置いた学習を行っていること』や『支援学校(高等部)との違い』について理解した人は、卒業後の進路を決める1つの判断材料になります。

中学校を卒業後、3年間過ごす場所です。その将来の時間があなたの人生の中で良い時間となるかどうかは、今のあなたがどれだけ本気になるかによって大きく変わります。

今回の通信を作成するにあたり参考にしたHP・資料へのリンクを下記に載せておきます。

HP 大阪府 | 職業学科を設置する高等支援学校 リーフレット  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/shienkvoiku/koutoushien/index.html>

資料 令和6年度 大阪府立知的障がい高等支援学校 職業学科 入学者選抜 方針  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6senbatsuhoushin.pdf>

資料 令和6年度 大阪府立支援学校高等部及び幼稚部 入学者決定 方針  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5632/00000000/R6nyuuketsuhoushin.pdf>

資料 府立支援学校通学区域  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/35113/00000000/tuugakukuiki.pdf>

HP 大阪府立むらの高等支援学校  
<https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/>

資料 大阪府立むらの高等支援学校 Q&A 集  
<https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/file/031005Q%EF%BC%86A.pdf>

資料 大阪府立むらの高等支援学校 学校新聞 むら高支第 4099 号 第1号 令和5年7月14日発行  
<https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/file/murano-davori/murano-davoriR5-1号.pdf>

資料 大阪府立むらの高等支援学校 学校パンフレット  
[https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/singakufair/school\\_pumphlet2.pdf](https://www.osaka-c.ed.jp/murano-ks/singakufair/school_pumphlet2.pdf)

最後に、世界的に有名な元プロ野球選手のイチロー選手の名言で締めくくりたいと思います。

少しずつ前に進んでいるという感覚は、人間としてすごく大事